国際交流員ソンヤン通信
Xin chào
シン チャオ！
（ベトナム語で「こんにちは」）

初めまして！ボー・ソン・ヤンです！

問合先　自治振興課

◀国際交流員のソンヤン

2019年10月21日に泉佐野市と友好都市提携を結んでいるビンディン省の中のクイニョン市から来ました。4月から泉佐野市役所の国際交流員として勤務していて、私の名前はボー・ソン・ヤンといいます。（ソンヤンと呼んでください。）　名前の由来について説明すると、ベトナムでは結婚しても姓は変わりませんが、偶然同じ姓を持つ父母から「武（ボー）」という姓をもらい、二つの河が交わるという意味の「双河（ソンヤン）」という名を命名されました。好きな物は「海」と「アオザイ（伝統衣装）」と「美味しい食べ物」です。

クイニョン市の海

【海】幼少期から大人まで、私の人生には常に海が関連しています。私が生まれた日本の浜松市にも海があり、私が育ったクイニョン市にも海がありました。そして、偶然にも今、勤務している泉佐野市も海がある沿岸都市です。

【アオザイ・ベトナムの伝統衣装】　私はアオザイが大好きです。例えば、伝統的なアオザイや革新的なアオザイや古風なアオザイなどたくさんのデザインがあり、独自の美しさがあります。

◀アオザイ（ベトナムの伝統衣装）

【美味しいもの】日本では、ベトナム料理と言えば、「フォー」「生春巻き」「バインミー」を思い浮かべるかもしれませんが、私はビンディン省の郷土料理「ネム･チョ･フェン（熟成ハム）」を紹介したいと思います。この料理は豚肉と豚皮を糸状に切り、香辛料で味付けし、グアバの葉で包み、その後、バナナの葉に巻いて3～5日寝かせて熟成させます。味は甘酸っぱくて、くせになります。もし、クイニョン市に行く機会があれば、ぜひ一度食べてみてください。

▲ネム・チョ・フェン（熟成ハム）

最後に、これからも国際交流員として、泉佐野市とビンディン省との友好関係を発展させるために、全力を尽くし、努力していきます。どうぞよろしくお願いします。

今月のベトナム語
- Xin chào（シン・チャオ）：こんにちは
- Xin cảm ơn（シン・カム・オン）：どうもありがとう
- Tạm biệt（タム・ビエッ）：さようなら

消費生活センターだより

鍵の出張作業を頼んだら想定外の料金に！

【事例1】夜、自宅の鍵を紛失したことに気がつき、ネットで見つけた鍵交換業者に連絡すると「通常5千円～3万円。最高で5万円」と言われた。作業前に料金を確認したが返事がないまま作業され、作業後約10万円の高額な請求を受けた。（70歳代）

【事例2】自宅の鍵を紛失し、ネットで探した事業者に開錠を依頼した。サイトには開錠費用が「3千円～8千円」と記載されていた。作業前に費用の説明があったかもしれないが、聴覚などの障害があるのでうまく聞こえず、早く開けてほしい焦りもあって返事をしてしまったかもしれない。請求額は約6万円で高額だ。（30歳代）

【ひとことアドバイス】

●鍵の紛失などに気づいたら、まずは慌てず、家族や周りの人に相談しましょう。

●時間帯や現場の状況により、ネットの広告に表示された料金で依頼できるとは限りません。焦らず、作業してもらう前に納得できるまで説明を求め、作業内容と料金は必ず書面で確認しましょう。

●料金や作業内容に納得できない場合は、後日納得した金額で支払う意思があることを示しつつ、その場での支払いは断りましょう。

●緊急時に備え、所有する鍵の種類やメーカーなどを確認し、信頼のおける事業者の情報を調べておくと安心です。賃貸住宅の場合は大家や管理会社に対応方法を確認しておきましょう。

▲イラスト：黒崎　玄

参考：（独）国民生活センター「見守り新鮮情報　第506号」

困った時は、消費生活センターにご相談ください。